

創立125周年記念 関西学院中央講堂パイプオルガン奉献式

関西学院は昨年9月27日、創立125周年を記念し、新しい「中央講堂」を与えられました。この講堂は、1929（昭和4）年に学院が神戸原田の地から上ヶ原に移転した際にウィリアム・メレル・ヴォーリズによって建てられた中央講堂を引き継ぐものです。正面右手2階には、念願のオーストリア、リーガー社のパイプオルガンが設置され、これからこの講堂が、礼拝（チャペル）、式典、音楽プログラムに大きな役割を果たすことを期待しています。

このたびオルガンの完成にあたり、次のとおり奉献の式と楽器のお披露目をいたします。学年度末のお忙しい時ではありますが、どうぞご出席ください。

と き	2015年3月28日（土）午後1時～3時（予定）
と ころ	関西学院上ヶ原キャンパス 中央講堂
メッセージ	Ruth M. Grubel（院長）
演 奏	太宰 まり（学院オルガニスト）

どなたでもご参加いただけます、お誘いあわせご来場ください。

学校法人 関西学院



お問い合わせ：関西学院宗教センター（0798-54-6018）